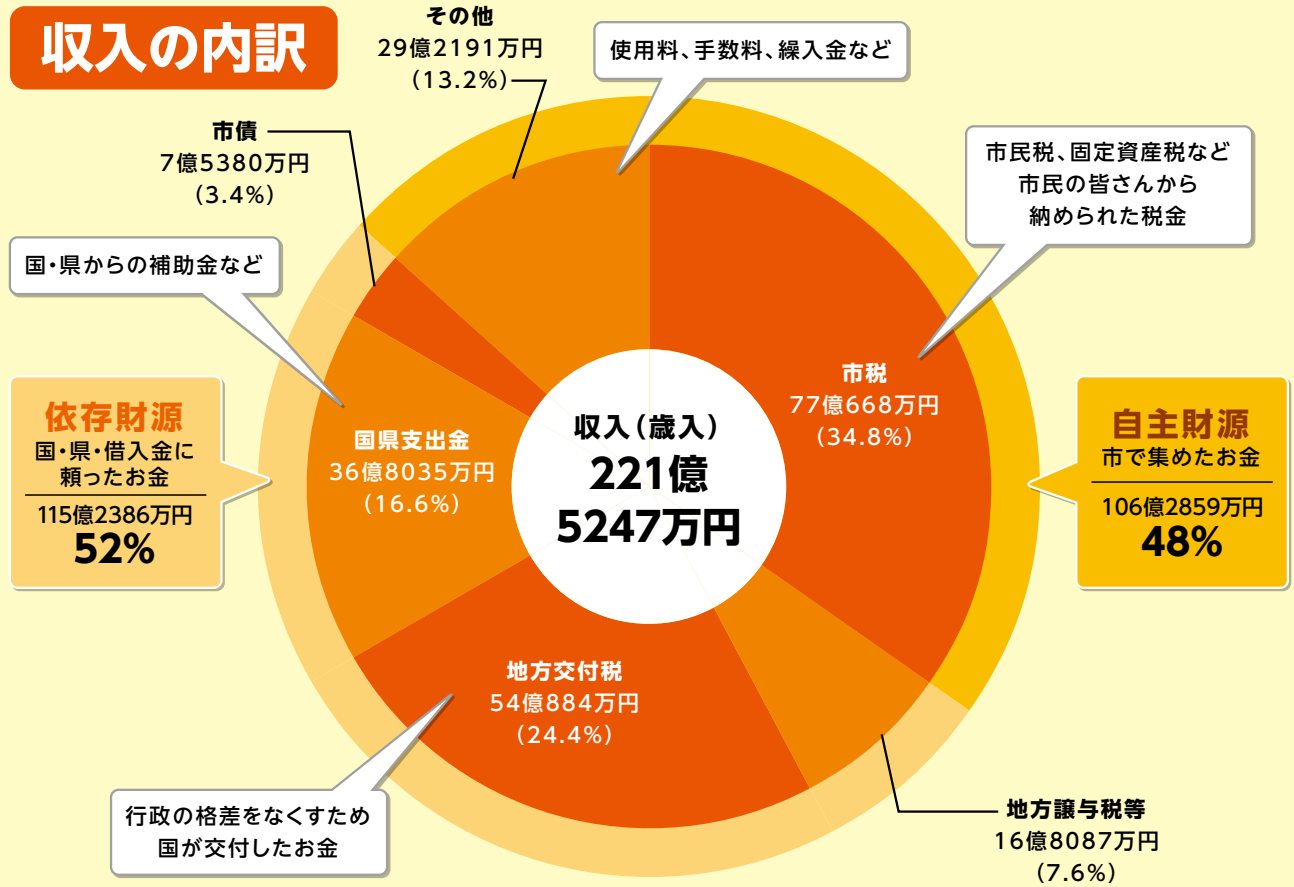


収入の内訳



▲子どもの検診

子ども医療制度が中学生の 通院医療費まで拡大

平成30年8月から子供医療費が拡大され、乳児から小学6年生までの入院・通院は全額現物給付で従来通り。中学生は、入院は全額・通院は3分の2が助成対象で償還払いとなり、(後で申請が必要)子育て家庭の負担軽減となった。

拡大部分の実績として、対象者数1683名、申請件数1423件、支給額364万99793円。

Q 小・中学生の受診の多い科は。

A 小学生は小児科、皮膚科、歯科。

中学生は、歯科、内科、整形外科。

その他事業

- ・市民活動支援公募事業 (40万円)
- ・空家等対策推進事業 (282万円)
- ・健康なまちづくり事業 (349万円)
- ・道の駅周辺整備事業 (719万円)

討論

賛成
将来を見据えた持続可能な運営を

本市は、自主財源より依存財源が上回っている。一層の行財政改革が求められている中、適切な予算執行だ。大規模災害への備え、少子化対策、教育環境の整備、健康意識の向上など取り組まれた。未来の子供たちに、負の財産を残さない将来を見据えた持続可能な運営を期待する。

反対

市民に冷たい市政だ
高齢者の貧困問題や外出手段の確保、自主防災会の訓練補助金廃止は改善すべき。地域の行政事務委託料の30%カットは大きな痛手だ。市民サービス、地域支援の削減、小・中学校の助成金の引き下げなど市民に冷たい市政となっている。